



# THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO HIGASHI

CHARTERED 1988

2019-2020 年度  
10月号  
NO. 361

〒136-0016 江東区東陽 2-2-20 東京 YMCA 東陽町コミュニティセンター内 TEL03-3615-5565

強調月間

## EMC-E YES

国際会長：Jennifer Jones (オーストラリア) 主題「より良い明日のために今日を築く」  
アジア太平洋地域会長：田中博之 (東京多摩みなみ) 主題：「アクション！！」  
東日本区理事：山田敏明 (十勝) 主題：「勇気ある変革 愛ある行動！」  
関東東部部長：金丸満雄 主題：「紡ぐ ワイズのこころ！」  
東京ひがしクラブ会長：飯田歳樹 主題：「円やかワイズ Part II」

### 10月例会

と き 2019年10月10日 (木)  
18:30~20:30  
ところ 東陽町センター「YMCA ホール」

受付:千代一郎  
司会:須田哲史

#### ☆プログラム

開会点鐘  
ワイズリング / ワイズの信条  
開会挨拶 会長 飯田歳樹  
ゲスト紹介  
食前の感謝  
メンバースピーチ  
「SNSの活用」: 須田哲史メン  
各種報告 / スマイル  
閉会点鐘 会長 飯田歳樹

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

#### ★今月の誕生日

飯田歳樹 刈 (16日)

#### ★今月の結婚記念日

須田哲史・由美子ご夫妻 (8日)



### お帰りなさい! ようこそ!!



7月入会した今井一夫さん(再入会)に続き、9月例会に於いて3名の入会式が行われた。再入会二人目の野澤さんは、実に16年振りに帰って来ました。そして、「下町子どもダイニング」へ毎月食材の支援をしていただいている、(株)Sougoの北條裕子さん(取締役社長)と及川大樹さんは、楽しく活動しているひがしクラブに感銘して入会致しました。

飯田会長の目標とする、今期5名の会員増強まであと一人で目標達成です。

#### ひがしクラブ入会に際して

野澤一弘

今巷では、人生100年時代「生きがいとして楽しみにしている事として」のテーマが取り上げられている。私は、その事に関し、ひがしクラブの原点である「地域に根ざしてYMCA活動にサポートをする」という主旨に、もう一度自分の身を預けようと思立った。16年前に退会した時には、当時、マンネリ化した気持ちの整理がつかずワイズ活動から離れた。丁度その頃から、町会活動も副会長となり諸用事の負担が重くなり、一日おきに出歩くという状態になり、中途

#### 🛡️ 今月の聖句 🛡️

『イエスは言われた。「では、皇帝のものは、皇帝に、神のものは神に返しなさい』

—マタイによる福音書 第22章 21節—

#### 9月例会

出席者 15名 ゲスト 6名  
会員出席数 9名  
在籍数 12名  
(広義会員1名)

ひがし会員出席率 82%

#### スマイル

9月 21,000円

累計 40,000円

#### 2019-2020 年度役員

会長 飯田歳樹  
副会長 須田哲史  
書記 金丸満雄  
会計 千代一郎  
担当主事 沖 利柯

半端で投げ出すという事が出来ず、抜け出す事を許されなくなった。

最初に取り上げたが、生きがいの数々あるテーマに、①旅行、レジャー②子供、孫との交流③友人との交流④読書⑤映画鑑賞等色々あるが、これから③の友人との交流を大切に頑張りますので、若輩者である私をよろしくお願い致します。

## 9月例会報告

山口 隆

9月例会（12日）は、東陽町センターYMCAホールで開かれた。今月は入会式・関東東部部長金丸満雄氏公式訪問・講師例会と盛り沢山のプログラムとなりました。ひがしクラブ10名、ゲスト6名の出席。

飯田会長の開会点鐘により例会が始まりました。ゲスト紹介に続いて野澤一弘さん、北條裕子さん、及川大樹さん、3名の方の入会式が飯田会長の司式により行われた。バッチ、入会グッズの贈呈のあと入会歓迎の言葉に続き、3名の方により一言ずつ言葉を頂きました。会長の掲げる今年度の会員増強の目標である5名まであと1名となりました。今年度は4名のメンバーが加わりひがしクラブにとって大きな力になることでしょう。

続いてゲストスピーチ。今月は「第41回広島YMCA国際青少年平和セミナー」の参加報告です。スピーカーは木村卓司さん（東陽町コミスタッフ）と由井颯大さん、山岸朔太郎さん2人の大学生です。3人は8月4日～8日、アジア各国から73人が広島に集い平和セミナーに参加しました。平和祈念式典に参列した他、被爆者から当時の話を聞き、平和記念資料館の見学、ワークショップなどを通じて参加者同士、平和について考え共に理解を深めるセミナーであったとの報告がありました。

その後、金丸関東東部部長より訪問挨拶がありました。そして各種報告、スマイルの後、閉会点鐘をもって閉会した。

## 第33回インターナショナルチャリティーラン

沖 利柯

障がいのある子どもたちの支援を目的に行われているインターナショナルチャリティーランも今年で33回を迎え、恒例の木場公園で9月23日（祝）に実施されました。

台風到来で実施が心配されましたが、強風対策でテントを立てずに実施。大きな怪我も、事故も無く無事終了することが出来ました。今年は50チーム、伴走者も含めて計340人のランナーが参加しました。またレース前の「こどもラン」には幼児・小学生約500人とその保護者が参加。ボランティア、スタッフ、応援者を合わせると来場者総数は1,600人を越え、にぎやかな大会となりました。東陽町からは4チームが参加（T Y I S 2チーム、各部混合2チーム）。お揃いのTシャツを着て集まった結団式では各チーム紹介と青木方枝実行委員長からのエールにみんなで頑張る一体感が生まれました。またコミュニティーチームとひがしクラブが担当した模擬店も大盛況。にほんご学院の学生中心に頑張ったかき氷には長蛇の列で、慌ててカップを買いに走りました。例年より数を増やした焼きそば、フランクフルト、水餃子もあっというまに完売してしまいました。来年からはさらに増量かと・・・。

さて、東陽町チームの結果はというと、最高が19位と入賞には程遠い結果でしたが、そんなことよりはじめて東陽町の各部門が心を一つにして参加、応援できたランになったという大成果がありました！来年度も、もっともっとチーム東陽町の絆を強固なものにして臨みたいですね。どうぞ宜しくお願いします。益金は東京YMCAと全国YMCAが主催する障がいのある子どもたちを支援するプログラムのために用いさせていただきます。



チーム東陽町勢揃い！！



## YMCAコーナー

担当主事 沖 利柯

### ▼国際協力一斉街頭募金

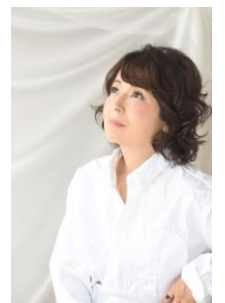
9月14日、恒例の国際協力一斉街頭募金を新宿駅周辺で実施し、各部署から集った会員、ワイズメン、学生、メンバー、スタッフなど、総勢233名が街頭に立ちました。募金総額は338,788円となり、参加人数、金額ともに昨年を大きく上回りました。寄せられた募金はバングラデシュの7つのYMCAが運営する働く子どもたちの学校（NFPE）で学ぶ児童をはじめ、現地の青少年の教育支援に用います。

### ▼いじめに向き合うための勉強会

YMCAでは積極的にいじめに対してNOといえる団体でありたいと願っています。そのためにはまず関わる私たちがもっといじめと向き合うことが大切と考え、勉強会を開催しています。公教育の現場のお話や各自の経験を話し合いながら私たちにできることを探っています。是非みなさまもご参加をお願いします。次回は11月21日（木）17:30～19:30 コミュニティーセンターです。

### ▼久米小百合のオリーブオイルテイスティングとバイブルカフェ

あの異邦人を歌っていた久保田早紀さんが現在は音楽伝道家としてご活躍されており、さらにオリーブオイルソムリエの資格も取得。今回15名の少数に対して聖書のお話を交えながらオリーブオイルのテイスティングをしながらそれぞれの特徴もお話くださいます。是非ご参加ください。



11月15日（金）14:00～15:30

参加費：3000円